

# eco みやざき

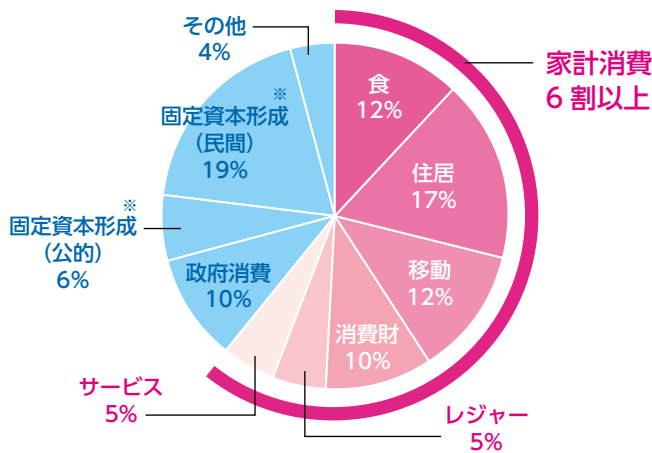


2021年7月よりカーシェアリングとして導入されたトヨタの小型EV車。ANA ホリデイ・インリゾート宮崎に設置されています。

## 環境保全

# 暮らしを見直して目指そう脱炭素社会

### 消費ベースから見た日本国内の温室効果ガス排出量



※建築物、設備など

消費ベースから見た日本国内の温室効果ガス排出量

(環境省<http://www.env.go.jp/guide/info/ecojin/feature1/20210331.html>)を加工して制作

#### エコ用語説明

- **温室効果ガス**…二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)、メタン、一酸化二窒素(N<sub>2</sub>O)、フロンガス等を含む
- **カーボンニュートラル**…ニュートラルとは「中立」の意味。人間活動などによって排出される温室効果ガスをプラス、森林などによる吸収量をマイナスとして、プラス・マイナス・ゼロにしようという考え方。
- **ゼロカーボンシティ**…「2050年までに二酸化炭素排出量実質ゼロ」を目指すことを表明した都道府県や市町村のこと。

私たちの暮らしが便利になった代わりに、地球環境は温暖化という深刻な問題を抱えるようになりました。地球温暖化の原因は、**温室効果ガス**といわれる空気を温める性質を持ったいくつかの気体で、代表的なものは二酸化炭素です。

地球温暖化は豪雨や台風の大型化など、気候変動の原因になるといわれています。日本でも近年は頻繁に豪雨に見舞われ、それによる洪水や土砂災害が発生しています。気候変動は私たちの命と生活に直結します。私たちは地球と人類の未来のために、地球温暖化につながる温室効果ガスの排出を減らさなければなりません。

世界中が危機感を持ち、温室効果ガスの排出量を全体としてゼロにする「**カーボンニュートラル**」への動きが高まっています。カーボンニュートラルが実現した社会を「脱炭素社会」といいます。2020年10月、菅義偉首相が「2050年までにカーボンニュートラルの実現を目指す」と表明しました。またそれに伴い、自治体ぐるみで取り組む「**ゼロカーボンシティ**」が増えています(2021年7月9日現在、全国で420自治体)。人口にすれば1億1090万人、日本の総人口の88%にもなります。左の円グラフのとおり、消費ベースから見ると、私たちの暮らしに伴う「家計消費」の温室効果ガス排出量が大きな割合を占めています。脱炭素社会を実現するために、地球の一員である私たち一人ひとりが自分のこととして考え、行動していくことが求められています。

## 一人ひとりが今すぐにできることがある

### エコな暮らしを实践しよう

一人ひとりの行動の積み重ねが脱炭素社会へつながります。暮らしの中で意識すればできることがたくさんあります。子どもなら例えば、食べ物を残さず食べることなどがすぐにできることです。食べ物が作られて口に入るまで、また、廃棄されるまでにはたくさんのエネルギーが使われます。食べ物を無駄にしないことは、エネルギーを節約して温室効果ガスの排出を抑制することにつながるのです。



- 冷暖房の温度設定を適正に
- 断熱カーテンなどを利用して冷暖房の効果を高める
- 高効率給湯器を利用する
- 新築時は災害にも強い高断熱、太陽光パネル付住宅に



#### 移動

- 徒歩、自転車、公共交通機関での移動
- 宅配ボックスや置き配などを活用して再配達を減らす
- 各種オンラインサービスを活用することで移動機会を減らす

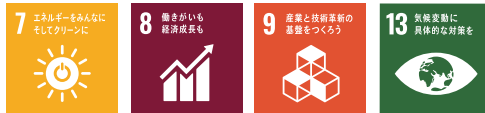


#### 食

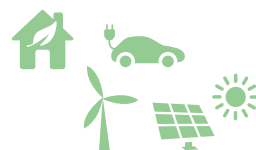
- 家庭で発生する食品ロスを減らす・なくす
- 飲食店で食べ残しを減らす・なくす
- 旬の食材の地産地消を心掛ける
- 省エネのため野菜の下ごしらえなどに電子レンジを活用する
- より簡易な包装の製品を選択する など

ゼロカーボンシティ 宮崎県の取り組み

「ひと・自然・地域がともに輝く  
持続可能なみやざき」を実現するために



宮崎県は自然環境に恵まれています。日照時間の長さを活かした太陽光発電、林業や畜産業からもたらされるバイオマスを活用した再生可能エネルギーの導入、森林による二酸化炭素吸収量の確保などにより、「2050年二酸化炭素排出実質ゼロ」を目指します。宮崎県の子な取り組みと、県民へお願いしたい行動を紹介しします。一人ひとりができることを実践ししょう。



① 省エネルギー・省資源の推進

- 断熱性、気密性、日射遮蔽性(つつししゃへいせい)を高めるなど住まいの省エネ化
- 省エネルギー性能の高い家電の利用
- 環境アプリ「エコふあみ」を活用してエコ活動を実践
- 4R(リフューズ・リデュース・リユース・リサイクル)を心掛け、ごみを減らす
- エコドライブの実践
- 水曜日のノーマイカーデーに「エコ通勤割引バス」を提示して、半額料金で路線バスを利用。(令和4年6月末まで)



② 再生可能エネルギーの導入拡大

- 太陽光発電などの導入による電力の自家消費
- ハイブリッド車、電気自動車など次世代自動車への転換



③ 森林吸収量の維持

- 間伐などの適切な森林整備
- 計画的な伐採と確実な再造林の実施
- 積極的な木材利用

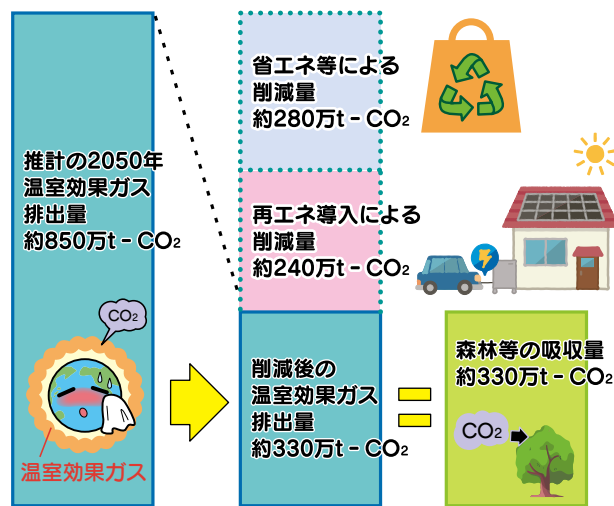


④ 環境保全を支える人材づくり

- 「環境情報センター」が実施する体験型環境教育への参加
- HP「みやざきの環境」などで環境保全に役立つ情報をチェックする
- 森林環境教育拠点施設の活用



温室効果ガス排出量と森林等吸収量を均衡させて  
2050年の排出量実質ゼロ



環境みやざき推進協議会だより  
環境パネル展 2021を開催しました

令和3年6月27日(日)「環境パネル展2021」を開催しました。

約450名の方にご参加いただき、楽しみながら環境について関心をもっていただくよい機会となりました。

当日、ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。

●環境パネル展2021

日時/令和3年6月27日(日)  
会場/イオンモール宮崎 スペースコート  
内容/環境啓発パネル展示・VRシアター体験  
サステナブルファッション展示  
SDGsビンゴゲーム・エコクイズ



環境みやざき推進協議会の案内

会費 無料  
会員 募集中

環境みやざき推進協議会は、県民、事業者、行政等が協働して宮崎県域における地球温暖化防止等に関する様々な取組を推進しています。活動に御賛同いただける方の入会をお待ちしております。

【環境ひろば】

環境に関する情報を掲載



インフォメーションスクエア

※新型コロナウイルス感染拡大防止のため、中止、変更になる場合もあります。詳細については、お問い合わせください。

日時	イベント名	お問い合わせ・お申し込み
10/10(日)	化石の日関連特別講座 「モンゴルの地質調査より」 *要申込(受付:9/12日~9/26日)	宮崎県総合博物館 ☎0985-24-2071 ※詳細はHPを確認してください。
10/23(日)	干漏ってなあに ~干漏の生き物大集合~ *要申込(受付:9/25日~10/9日)	
11/3(日)	秋・森とのふれあい教室	森の科学館(宮崎県林業技術センター) ☎0982-66-2004 ※実施日より約1ヶ月前から受付開始
10/23(日)・24(日)	防災キャンプ	宮崎県ひなもり台 県民ふれあいの森 ☎0984-23-8100 ※実施日より約1ヶ月前から受付開始
11/24(日)	大幡池登山~紅葉観察~	

宮崎県環境情報センター ~環境学習なら宮崎県環境情報センターへ~

利用時間 9時~19時  
休館日 月曜日(祝日の場合、翌日以降の最初の平日)、年末年始、図書館整理及び特別整理期間  
住所 〒880-0031 宮崎県宮崎市船塚3-210-1 宮崎県立図書館1F  
TEL 0985-23-0322  
FAX 0985-26-4720  
E-mail kankyojyoho@coral.ocn.ne.jp  
HP https://eco.pref.miyazaki.lg.jp/center/

主な活動内容

- 環境に関する資料の閲覧
- 環境教材の貸出
- 環境保全アドバイザーの派遣
- リサイクル工作などの環境講座や出前授業
- 次世代エネルギーパークの見学受付等



◀E-mailはこちら



▶HPはこちら

「ecoみやざき」に関するご意見・ご感想をお聞かせください

発行・お問い合わせ先

宮崎県環境森林部 環境森林課  
〒880-8501 宮崎市橋通東2丁目10番1号  
TEL.0985-26-7084 FAX.0985-26-7311

環境みやざき推進協議会(事務局:公益財団法人 宮崎県環境科学協会内)  
〒880-0911 宮崎市大字田吉6258-20  
TEL.0985-51-2077 FAX.0985-51-2086



日本のひなた宮崎県

みやざきの環境ホームページアドレス <https://eco.pref.miyazaki.lg.jp/>

